

いま、  
どのような  
木の建築を  
つくるのか



第7回 木の建築大賞  
県産材100%の「未来を育む木造幼稚園」



第7回 選考委員特別賞  
箱根太陽山荘



第7回 選考委員特別賞  
都筑民家園に市民に親しまれる本格的な茶室を整備



第7回 NCCN木骨構造賞  
流星庵  
(特別協賛・(株)エヌ・シー・エヌ)



第7回 日集集成材建築賞  
本郷台キリスト教会 チャーチスクール・保育園  
(特別協賛・日本集成材工業協同組合)

# 第8回 木の建築賞

2012年度 東北・北海道・新潟地区

応募書類受付期間 2012年7月9日(月)～2012年8月17日(金)

「いま、どのような木の建築をつくるのか」というテーマの解釈は、それぞれの取り組みによって異なります。

「作品」であれば、人々に快適な場を提供する、建築デザインと空間構成、環境に対する考え方、それらを支える技術、その建築の持つ社会性などがあげられ、「活動」であれば、森林の育成に結びついた木材の利用、品質向上に関する技術開発とシステムの構築、伝統技術の継承、木の持つ良さを社会にアピールする運動や、活動を通じての社会への貢献などがあげられるかもしれません。

「木の建築賞」は、このような観点から木に関心のある人たちに応募を呼びかけ、優秀な作品・活動を顕彰することにより、木造文化の向上に寄与することを目的にしています。

いま、どのような木の建築をつくるのかをともに考えませんか。

主催：NPO 木の建築フォーラム

特別協賛団体：株式会社エヌ・シー・エヌほか

協賛：NPO 木の建築フォーラム会員有志



第7回 山と建てる賞  
「せかい造り」の家  
(特別協賛・ヤマツタレの会)



第7回 木の住宅賞  
大地の風景  
(特別協賛・(財)日本住宅・木材技術センター、中国木材(株))



## ■ 2012 年度 第 8 回木の建築賞 実施要綱

### ○ 応募対象地域（建築物の所在地、又は活動地域）

東北、北海道、新潟地区（北海道、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、新潟県、福島県）  
※全国を4つの地域に分割し、いずれかの地域で年1回の開催とし4年で全国を一巡する。地域側からみれば、4年に一度行われるオリンピック方式である。

### ○ 趣 旨

木の建築に関わる者が自らの仕事や活動を発表し、相互に評価するとともに、賞の選考過程をこれからの木の建築のあるべき方向を探る議論の場とする。

### ○ 選考の基準

以下の基準において一定の水準に達している建築または活動を木の建築賞として選考する。

また、その中からもっとも優れているものを木の建築大賞として選考する。

- ① 地域の文化や風土が表現され、木の建築文化と芸術の振興に寄与していること。
- ② 木材を主として用い、森林の保全と木材産業の振興に寄与していること。
- ③ 職人や工務店が主体となってつくり、木の建築技術の継承と発展に寄与していること。
- ④ 木の循環的利用が図られ、木の建築の修復や再利用において優れているもの。

### ○ 選考方式

#### ① 一次選考〈書類選考〉

選考委員が「建築・活動シート」による書類選考を行ない、20点程度の建築・活動を選出する。

#### ② 二次選考〈木の建築賞発表会〉

一次選考通過の建築・活動（20点程度）の応募者による10分間のプレゼンテーション（+質疑4分間、合計14分間）を行なう。その後、選考委員（持ち点5票）と発表会に参加するフォーラム会員（持ち点3票）全員が投票を行い、投票結果を見ながら参加者全員による統括討論会を行う。投票の結果と討論の内容を鑑み、三次選考を行なう建築・活動を選考委員がその場で決定する。

#### ③ 三次選考〈現地視察見学会〉

選考委員が1チーム3名以上のチームに分かれ現地審査を行う。現地案内は応募者が行なう。見学希望者の同行が可能であれば見学者が同行する場合がある。

#### ④ 最終選考会

選考委員が現地視察見学会の評価を持ち寄り、選考の基準に基づいて内容を検討し、厳正な審査のうえ、入賞建築・活動を選出する。

### ○ 賞

- ・木の建築大賞：1点
- ・木の建築賞（下記特別協賛賞を含む）：10～12点
- ・特別協賛賞：特別協賛団体、企業の理念にそった賞を設ける。
- ・メンバーズチョイス賞：二次選考会時の投票で得票数が最も多いものを表彰する。メンバーズチョイス賞に限り、他賞とのダブル受賞があり得る。

### ○ 選考委員（予定） 敬称略・五十音順

選考委員長 播 繁 / 播設計室 代表

客員選考委員

選考委員

安藤邦廣 / 筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授

泉幸甫 / 泉幸甫建築研究所・日本大学教授

内田みえ / 有限会社サイレントオフィス 代表

加来照彦 / 株式会社現代計画研究所 取締役

小嶋睦雄 / 静岡大学名誉教授、浜松学院大学現代コミュニケーション学部・静岡県農林大学校林業学科非常勤講師

杉本健一 / 森林総合研究所 構造利用研究領域 木質構造居住環境研究室 室長

植本敬大 / 国土交通省国土技術政策総合研究所 総合技術政策研究センター評価システム研究室長

中谷正人 / 中谷ネットワークス主宰 千葉大学客員教授

速水亨 / 速水林業代表、㈱日本林業経営者協会会長

藤田香織 / 東京大学大学院工学系研究科 建築学専攻 准教授

安井昇 / 桜設計集団一級建築士事務所 代表

松井郁夫 / 松井郁夫建築設計事務所

池田昌弘 / 株式会社 Masahiro Ikeda School of Architecture 主宰

本江正茂 / 東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻 准教授

野村俊一 / 東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻 助教

土岐謙次 / 宮城大学事業構想学部 デザイン情報学科 助教

菅原英介 / 株式会社 菅原設計

大場隆博 / 日本の森バイオマスネットワーク副理事長

### ○ 応募条件

- ・応募資格、条件等は特にありません。応募点数の制限はありません。ただし、応募書類に虚偽の記載があると判明したときには入賞を取り消す場合があります。
- ・応募年度に開催が示された地域内における木の建築または、木の建築に関わる活動であり、2002年1月以降の竣工完成もしくは活動であること。
- ・選考委員および客員選考委員、もしくはその関係者の応募は一切認めない。

### ○ 応募方法

応募は次の①～②をもって応募完了となります。

- ① 応募書類の提出：「応募概要書」・「建築・活動シート」をメール送信 及び 郵送（宅配便可）
- ② 応募費用の振込み

### ○ 応募の詳細

応募書類、応募費用、選考スケジュールなどの詳細は、下記 URL にてご確認ください。  
URL：[http://www.forum.or.jp/menu2\\_10.html](http://www.forum.or.jp/menu2_10.html)

### ○ お問い合わせ、および応募書類送付先

NPO 木の建築フォーラム事務局

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 4 階

E-mail：[kinokenchikusyou@gmail.com](mailto:kinokenchikusyou@gmail.com) URL：<http://www.forum.or.jp/>

TEL：03-5840-6405 FAX：03-5840-6406



第7回 メンバーズチョイス賞  
ティンバライズ建築展 都市木造のフロンティア  
及び Team Timberize の活動



第7回 木の建築賞  
平和台の民家



第7回 木の建築賞  
棲林居



第7回 木の建築賞  
HIRATSUKA Beach House Project 2009



第7回 木の建築賞  
奥多摩森林セラピーロード 香りの道「設計トレイル」